

2014年4月11日
株式会社日立システムズ

「Finnova 信用金庫向けクラウドサービス」を販売開始

第一弾として為替イメージ処理システムを販売開始し、順次ラインアップを拡充

株式会社日立システムズ(代表取締役 取締役社長:高橋 直也、本社:東京都品川区/以下、日立システムズ)は、金融業向けソリューション「Finnova(フィノーバ)」のラインアップの一つとして、全国の信用金庫に向けて、「Finnova 信用金庫向けクラウドサービス」を販売開始します。

信用金庫業界においては、厳しい経営環境下で、IT投資の効率化を図るため、「しんきん共同センター」への加盟による、基幹系(勘定系)システムの共同利用が進んでいます。これに伴い、振込依頼書や用度品の管理、営業支援など周辺業務を支援するシステムについても、さらなる経営の効率化やBCP(事業継続計画)の観点から、個別導入型システムから利用型システムへの切り替えが進められています。

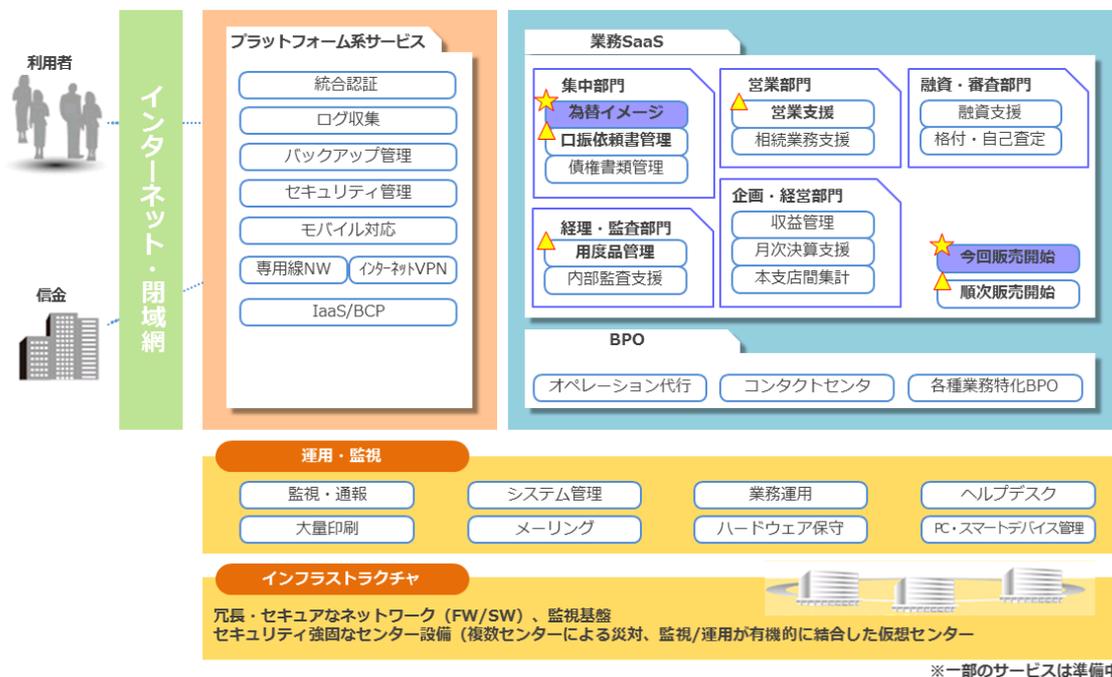
日立システムズでは、これまで信用金庫業界向けにATMの提供・保守から、業務アプリケーション、ネットワークサービスまで幅広く、多くの実績・ノウハウを積み重ねてきたほか、強みであるクラウド技術・ノウハウを生かしたクラウドサービスの強化を図ってきています。

こうした背景を踏まえ、日立システムズは、これまでにオンプレミス(導入型)で提供し実績をあげてきた業務アプリケーションを自社のデータセンターに構築したクラウド基盤をベースに、クラウドサービスとして新たにラインアップ化し、周辺業務をサポートする「Finnova 信用金庫向けクラウドサービス」を販売開始します。第一弾として、「為替イメージ処理システム」のクラウドサービスを開始するとともに、「用度品管理システム」、「口振依頼書管理システム」などを順次提供開始する予定です。これら業務アプリケーションに加え、IT基盤提供、システム運用サービス、セキュリティサービス、端末導入・保守などのオンサイトサービス、コールセンターサービスなどをワンストップで提供します。

本サービスを利用することにより、お客さまは信頼性の高いデータセンター基盤から提供される業務アプリケーションを高額な初期投資を必要とすることなく、リーズナブルな月額費用形式で利用でき、システムコストの平準化を実現できます。また、情報システム部門は、システム開発・運用・保守業務の負荷を軽減できるため、システム最適化のための企画業務に注力することが可能になります。

今後日立システムズでは、全国の信用金庫向けに「Finnova 信用金庫向けクラウドサービス」を拡販し、2015年度末までに累計6億円の販売をめざします。

■「Finnova 信用金庫向けクラウドサービス」の概要図



■「Finnova 為替イメージ処理システム」の概要

営業店と事務センター、基幹業務システムとの間で行われる振込依頼手続きを効率化するシステムをクラウド型で提供します。依頼書のイメージデータをデータベースで管理するとともに、基幹業務システムへの送信処理をスムーズに行うことが可能です。送信状況や依頼書のイメージデータもリアルタイムに照会することが可能です。

<http://www.hitachi-systems.com/solution/a0003/im21/index.html>

■お客さまからのお問い合わせ先

商品お問い合わせ窓口: TEL 0120-346-401(受付時間:9時~17時/土・日・祝日は除く)
お問い合わせWebフォーム: <https://www.hitachi-systems.com/d-inquiry/contact.cgi>

■報道機関のお問い合わせ先

株式会社日立システムズ CSR 本部 コーポレート・コミュニケーション部 杉山
〒141-8672 東京都品川区大崎一丁目2番1号
TEL:03-5435-5002(直通) E-mail : press.we@ml.hitachi-systems.com

以上

*記載の会社名、製品名はそれぞれの会社の商標または登録商標です。

*Finnova は、株式会社日立システムズの登録商標です。